



社会福祉法人 伏見福祉会 広報誌

きらっと

醍醐の里



題字・発行人
理事長 高松俊英

介護老人保健施設 醍醐の里
京都市伏見区醍醐内ヶ井戸19-1
TEL(075)571-5222
FAX(075)573-7666

施設運営理念

1. 老人の人権を尊重し、生活の質の向上に努める。
2. 老人の自立を支援し、家庭復帰を目指す。
3. 老人とその家族が安心して暮らせるまちづくりに貢献する。

「創刊によせて」

社会福祉法人 伏見福祉会
理事長 高松 俊英



社会福祉法人伏見福祉会は、ここ醍醐地域に高齢者の生活と自立を支援するため、介護老人保健施設「醍醐の里」を開設し平成十三年三月京都府の認可を得て事業を開始しました。

醍醐地域の各種団体の代表の方々にも法人運営の参画をお願いし、早くも三年を迎え、その間この施設を利用される高齢者の生命の尊厳を大切に、生活、自立支援を通じてやすらぎの施設づくりを目指してきました。そして、これからも利用者とその家族の要望の実現と地域社会のニーズに適応するための事業を展開してまいります。

お陰をもちまして利用者のみならずその家族はもちろんのこと、地域社会のかたがたに施設の必要性をご理解頂き、醍醐地域に根ざした老健施設として大きな期待が寄せられてまいりました。それだけに法人役員をはじめ施設職員は地域の要請に応え、社会的責務を果たさねばと決意を新たにしています。

このたび創設三周年を契機に広報誌を発行し、施設での利用者の生活、自立の取組や事業内容など広く情報を開示し地域のみなさまの貴重なご意見を頂戴しつつ、常に利用者にとって潤いと安らぎを提供する施設であるよう努力してまいります。また、平成十七年四月から第三者評価を受け、専門家の厳しい目を通し施設の取組みを検証していく所存であります。

施設を利用されているお年寄りには、それぞれ過去に輝かしい日々を送られたに違いないと思います。いまこの施設を利用され再びきらりと光る生き方をしたいと願って広報誌を職員と共に「きらっと醍醐の里」というネーミングといたしました。

「創刊によせて」

介護老人保健施設 醍醐の里
施設長 福井 巖



私が、介護老人保健施設に勤務して、一年が経とうとしています。冒頭に高松理事長も申されているように、介護老人保健施設は、要介護の高齢者の療養・介護をさせて頂く所であります。

私は、この施設の施設長兼医師として勤めておりますが、これまで、府立医大の内科医として40年間診療にあたり、その間、近年良く取り上げられております生活習慣病や老人病を専門としてやってまいりました。その後、大原記念病院院長として高齢者の診療に5年間、携わりました。

これらの診療活動を通して感じることは、高齢者の多くが、「生活・身体に対する不安」や

「精神的な孤独感・寂しさ」を抱えている。このことが大きな問題ではないかと思えます。長年人生の荒波にもまれて過ごしてこれら、何らかの病気を抱えておられます。

残念ながらこれらの病気を完治させることは難しく、従って無理をせずこれらの病気と仲良く暮らすことが大切であろうと思えます。向かっていくとすれば、病気は牙をむいて向かってきます。又、診療にあたってもう一つ大切なことは、「心のケア」であると思えます。高齢者の方々は、「心の不安」をもっておられますから、これを良くわきまえて、診療にあたる必要があります。医師として高齢者の方々に接する心構えではないかと思えます。私自身もこれらのことを念頭に置き診療にあたっております。何でも相談して頂ければ幸いです。



「栄養科より」

管理栄養士 島田 芙美

利用者様の日々の楽しみにして頂けるお食事の提供を目標に、厨房も今年で三年目を迎えます。

当施設の厨房では、現在入所者（シヨートステイ含む）一〇〇名・デイケアサービス二〇名の方のお食事を、温かいものは温かく、冷たいものは冷たいまま美味しく召し上がって頂けるよう、適温配膳で提供してまいります。お食事の形態については、利用者様一人一人が食べやすいよう一般食（軟菜食）のほか、きざみ食、粗きざみ食、極きざみ食、とろみ食、ミキサー食、流動食等を用意してまいります。個人

の嗜好についても、嗜好調査を行い、出来る限りの対応をさせていただきます。

食事内容については、施設内で生活されており外出の機会が少ない利用者様にも季節感を感じて頂けるよう、季節ごとの行事にちなんだ献立や旬の食材を取り入れたお食事を作るようにしています。その他、毎月一回駅弁の日として全国各地の駅弁をモデルにした駅弁形式のお弁当の提供や、通所リハビリテーションではカレーライスやお好み焼き、屋外バーベキューやクレープ作りなどの昼食やおやつを利用者様達と一緒に作り、出来たてを召し上がって頂いています。

今年の利用者様に好みの物を選んで頂けるバイキング形式の食事や、各フロアでの料理作り・おかし作りに入力したいと考えています。今後施設のお食事でも満足して頂けるよう利用者様一人一人の意見を大切に、厨房の職員一同頑張っていきたいと思っております。

「リハビリテーションより」

作業療法士 島 真理子

当施設のリハビリ部門は、作業療法士二名で入所者一〇〇名と通所リハビリ利用者約七〇名を担当しています。

「リハビリといえれば機能訓練！」というイメージが強いと思いますが、重錘（おもり）をつけて足を動かしたり、平行棒の中を歩く練習をしたり、関節を動かしたりすることだけが「リハビリテーション」ではありません。本当は、「人間らしい生き方を取り戻す」という意味なのです。

では、「人間らしい生き方」ってなんでしようか？

まずは、「年をとってなにもできなくなってしまうからあきらめる。障害を持って他人の世話になるようになったから我慢する。」という考えは捨てましょう。

私達リハ職は、いつも「元気な頃は出来ていた。」ではなく、「障害をもっても元気な頃と同様に暮らす。」という事を目標にし、機能が取り戻せる方

には運動のメニューを考えた利用をすすめる自分で自分のことが出来るようにしたり、やり方の工夫を指導したりしながら、日常生活を営む能力を取り戻せるように努力しています。

しかし、基本的な行為ができていても、人生の潤いが無くては生きていても楽しくないので、外出や趣味的な活動を通して生きている楽しさや人間らしさを実感できるように、看護や介護職員と協力しながら様々なプログラムを実施しています。

また、通所リハビリの利用者様には在宅での生活が続けられるように、入所から自宅へ帰られる方には在宅でご本人も介護者も円満に暮らせるように、実際に御自宅へお邪魔し、生活の工夫や介護方法のアドバイスを行っています。

私達にも限界はありますが、利用者様の一人一人が潤いのある生活をして頂けるように、これからも努力していきたいと思えます。何でも結構です、お気軽にお声かけ下さい。

リハビリ・自主トレ風景

毎日の自主リハビリ。歩行練習頑張るぞー。ファイトから！！



自主リハビリで、フロア歩行。トラベラーを使用されている方々が、フロア歩行されています。

「通所リハビリテーション」

通所リハビリテーション（デイケア）では、在宅介護を支援しながら、ご本人の能力・生活の質を向上する目的を持ち、利用者様の笑顔・活力を引き出していこうと考えています。

現在、デイケアには七〇名程（40才代〜90才代）の方が、通所されています。通所されるとまず、体温・血圧などによる、健康状態を把握した後、集団による体操、個別の自主トレーニング、頭や体を使ったゲームなど、様々な内容で運動能力や思考能力の維持・向上に努めています。



平成16年5月
屋上にて、バーベキュー。お肉、空気も美味しかったです。



平成16年4月
柳ヶ崎公園へお花見に行きました。
桜の下で「ハイ、ポーズ」

実施している「クッキング」（今年はずっと作りや、バーベキューも行いました。）外出する機会が少ないので、初詣やお花見（今年には滋賀方面）などの郊外レクリエーション、施設の中庭にひまわりやグラジオラスなどの花の種を植えて育てていく園芸など、日常生活リハビリテーションの内容も、数多く盛り込んでいます。

送迎時などには、介護者の方々と接する機会が多く、情報交換を密にすると共に、介護者への支援・助言も行っています。

これからも、利用者様と共に毎日でも来たくなる様なデイケアを目指していきたいと思っています。

「二階療養棟より」

二階療養棟（二〇床）、在宅復帰をより重視したりリハビリテーションやレクリエーションのプログラムを提供し、実施しています。二階療養棟では、施設内の単調な生活にとどまらぬよう、生活リハビリテーションとして、外出・調理など様々な行事を通して社会性を維持し、在宅生活に密着した環境作りに努めて来ましたが。

平成一五年四月より、月に一回の買い物で定例化し、普段与えられる事の多い入所生活の中で、自分で物事を決定する大切さと喜びを味わって頂く機会を増やそうと考えました。この行事は普段、欲しいものがあるけれど自分で選びたいと



平成16年1月 鍋料理調理・食事会。グループで野菜を切る所からして頂きました。



平成15年6月 月桂冠大倉記念館
見学『皆さんで、ハイチーズ。』

思われている利用者様を対象と致しますので、全員参加ではありません。毎月希望者の方のみ、スタッフが引率し、当施設の車にて外出を行い、皆様に喜んで頂いています。

また、施設内でのデイリープログラムでは、午前一〇時に、「お茶の時間」として少々のおやつを持参を許可し、食して頂いています。

二〇床という少人数制なので、利用者の方々とスタッフ間には自然と距離が縮まり、いつもアットホームな雰囲気でご提供して頂いています。今後、より一層、密な内容のプログラムを提供できる様、日々スタッフが努力し、思考しています。

「三階療養棟より」

三階では、自立者から軽度痴呆の方迄、様々な個性豊かな四〇名の利用者様が入所されておられます。その為、全員が同じ事をするのは大変難しい事です。が、日々のレクリエーション活動に、音楽体操やゲーム・スポーツなどを取り入れ、利用者様全員が楽しんで頂ける様にしてあります。

又、利用者様個々のニーズ・特性に添う形で行っているクラブ活動の実施や生活リハビリとして施設外機関への外出の機会増進や、「園芸療法」・「おやつ調理」などをとりいれています。クラブ活動では、月二回書道や手芸を行ない、パッチワークや



5月下旬より、ベランダ菜園を開始。トマト・茄子・などを中心に苗付けから収穫まで行います。



平成16年4月6日・9日の両日、伏見区北堀公園までお花見へ出かけました。

編み物、鍋しき等多数仕上げておられます。

施設外としてはお花見（伏見北堀公園）や、リハビリを兼ねた公園散策を行っています。平成十六年五月には、滋賀県の琵琶湖大津館に行き、オランダ庭園散策など郊外でのお弁当などとても楽しめました。

園芸では昨年さつま芋栽培を行ない大変好評でしたので、今年も行うと共に、茄子・トマトなど野菜栽培も行っています。

今後も利用者様それぞれの「生活の質」に着目した、よりよい施設生活の実現を目標に、援助活動を展開してまいります。

「四階療養棟より」

四階は四〇名の痴呆棟で現在約二〇名の介護スタッフで対応しております。回想療法・音楽療法の実施や、園芸・郊外レクリエーション等を通して、生き生きとした生活を心掛けています。一般の方と同じような生活習慣をなげなく過ごして頂けるようなケアを模索しながらスタッフ一同、日々業務に取り組んでいます。

現在四階では、入所されている方々のADLのレベルや痴呆の状態も様々な為、それぞれの利用者様に合わせたレクリエーションを展開



毎週水曜日に音楽療法を行っています。午後のひとときに楽器を手に取り、歌とリズムを体感して頂きます。



平成16年5月 京都市動物園 小動物とのふれあい。施設内では得られない気分転換になりました。

しております。

自主リハビリとして、洗濯の実施・買い物レクリエーションへの参加、毎週水曜日の午後より音楽療法を、そして園芸療法・作業療法を通して他利用者様との交流・心身機能の維持・回復を目指しています。また、郊外レクリエーションに参加して頂き、施設内では得られない地域社会とのかかわりや、気分転換を図って頂く事を入れていきます。今後も一般棟の方と同じような生活習慣を、なげなく過ごして頂けるようなケアを模索しながら、スタッフ一同、より一層のサービスの充実に努力してまいります。

園芸



毎日利用者様に、花壇の水やりをしてもらっています。
皆さん、花が咲くのを楽しみにされています。

生活リハビリ



H16. 4. 19
醍醐プラザホテルにて、
ホテルランチ。
「ノンアルコールビール
で乾杯〜！！」

シエニール織物



利用者様の作品です。「このハンカチの手触りは最高です。想像した以上の素敵な仕上がりに大満足です。」と、大変喜んでおられます。

グループ活動



隔週2回日曜日には、利用者の方々、ここのニーズの特性に応じた、グループ活動（書道・手芸など）を実施中。

社会福祉法人 伏見福祉会

事業目的

「介護老人保健施設 醍醐の里」の運営を通して、介護サービスを必要とする者が、心身ともに健やかに育成され、又は社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会を与えられるとともに、その環境、年齢及び心身の状況に応じ、地域において必要な介護サービスを総合的に提供されるように援助することを目的として、特に生計困難者に対して、無料または低額な費用で、利用できる社会福祉事業を行う。

第5期 醍醐の里決算公告 貸借対照表の要旨

平成16年 3月31日 現在 (単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	102,103	流動負債	77,018
現金及び預金	23,461	その他流動負債(要約)	77,018
事業未収金	77,423	固定負債	1,110,700
その他流動資産(要約)	1,219	長期借入金	1,110,700
固定資産	1,349,297		
基本財産	1,322,610	負債合計	1,187,718
建物	1,117,001		
建物付属設備	4,200	純資産の部	
土地	282,402	基本金	78,790
その他基本財産	1,000	次期繰越活動収支差額	184,892
減価償却累計額	△81,992	(内当期活動収支差額)	13,807
その他の固定資産	26,687	純資産合計	263,682
資産合計	1,451,400	負債・純資産合計	1,451,400

事業活動収支計算書の要旨

(自)平成15年4月1日(至)平成16年3月31日
(単位：千円)

科目	金額
事業活動収入	479,955
事業活動支出	421,866
事業活動収支差額	58,089
事業活動外収入	2,328
事業活動外支出	21,688
経常収支差額	38,728
特別支出計	24,921
当期活動収支差額	13,807
前期繰越活動収支差額	171,085
次期繰越活動収支差額	184,892

平成15年度

介護用品の寄贈を受けました

大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



介助式車椅子 2台
四輪歩行器 6台
交互式歩行器 1台
褥創予防マット 1枚

大阪ガス労働組合様より介護用品を寄贈いただきました。

平成15年9月25日



自走式車椅子 2台
介助式車椅子 1台

京都洛中ライオンズクラブ様より介護用品を寄贈いただきました。

平成15年12月19日

社会福祉法人 伏見福祉会 役員名簿

役員名	氏名	役職
理事長(評議員)	高松俊英	證行寺 住職
理事(評議員)	福井 巖	医師 醍醐の里 施設長
理事(評議員)	村井信夫	伏見区民生児童委員会 会長 伏見区社会福祉協議会 会長
理事(評議員)	林 信子	民生児童委員 春日野学区社会福祉協議会 会長
理事(評議員)	藪田僖一	会社役員
理事(評議員)	水口美智代	醍醐地域女性会 会長 醍醐社会福祉協議会 会長
理事(評議員)	箕口新一	会社役員
評議員	市田恒夫	団体職員
評議員	駒栄さとみ	会社役員
評議員	佐野喜一郎	会社役員
評議員	岩井義男	醍醐十校区自治町内会 連絡協議会 副会長
評議員	本田栄一	会社役員
評議員	三木通三	医師
評議員	太田政男	薬剤師
評議員	木内克幸	会社役員
監事	川端良一	団体役員
監事	細川輝美	団体役員

平成16年7月1日現在

変わり風呂のご紹介

- 平成16年 主な変わり風呂
 - 平成16年1月『大根の葉風呂』
 - 平成16年5月『菖蒲風呂』
 - 平成16年6月『お茶風呂』
- 平成15年 主な変わり風呂
 - 平成15年5月 『薔薇風呂』
 - 平成15年9月 『アロエ風呂』
 - 平成15年11月 『桧風呂』
 - 平成15年12月 『しいたけ風呂』



お知らせ



『第四回醍醐の里夏祭り』のお知らせ

日時 7月24日(土) 午後1時~4時
 場所 醍醐の里(1階・2階)



本年度夏祭りを上記の日程にて開催致します。利用者様・ご家族様共に楽しんで頂ける様、ゲーム・おやつ・イベントコーナーなど多数企画致しております。ご多忙とは思いますが、出来るだけたくさんのご家族様のご参加をお待ち申し上げます。



『クリスマス会』のお知らせ

本年度クリスマス会を12月25日に予定しております。毎年各階別に催し物を利用者様に発表して頂いております。皆さん、練習を重ねた成果を見せて下さいます。今年は何んな内容をされるのか今から楽しみです。ご家族様もぜひ御覧になって頂ける様、お待ちしております。

編集後記
 平成十六年 広報委員会

盛夏の候、ご家族様の皆様には、平素より格別のご温情を賜り、厚く御礼申し上げます。
 この度、当施設の広報誌発刊に際し編集に携わる事になりました。未だ非力の感は否めませんが、今後共施設処遇の向上と共に、広報活動にも邁進して行く所存です。
 今後共ご指導、ご鞭撻賜ります様、何卒宜しくお願い申し上げます。

広報委員 山口 次郎

待望の広報誌「きらつと醍醐の里」がスタートしました。

今回の発刊に際して、委員会ははじめ関係者の熱い思いや取り組みをどこまで表現できるか等の課題をかかげながら楽しく、又 真剣に取り組みました。いろいろな要望、アイデア等の声も多く、創刊号だけでは伝えられず次号に思いを込めていきたいと思っております。

これからも温かいご声援をよろしくお願い致します。

広報委員 松村 美恵子